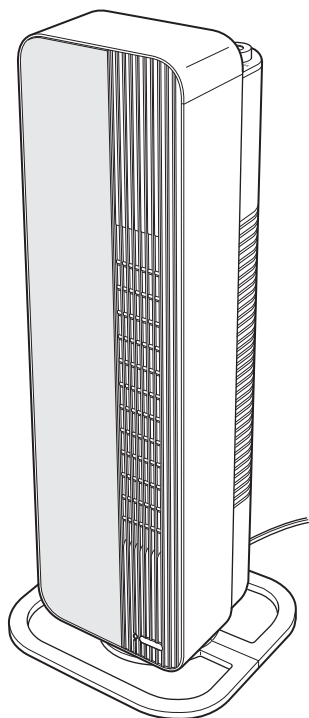


## 送風機能付ファンヒーター KHF-12233

# 取扱説明書 (保証書付)

ご使用前に必ずお読みください。



### 目次

安全上のご注意	1~4
知っておいていただきたいこと	5~6
各部のなまえ	7~8
リモコンについて	9
ご使用前の準備(台座を取り付ける)	10
運転のしかた	11~19
温風運転する	11
送風運転する	12
運転を停止する	13
いろいろな機能の使いかた	14~19
首振り機能	14
自動ルーバー機能	14
オフタイマー機能	15
チャイルドロック機能	15
人感センサー機能	16
音声認識機能	17
熱中症アラート機能	18
お手入れのしかた	19
保管のしかた	19
故障かな?と思ったら	20
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	21
Q&A(よくあるご質問)	22
仕様	22
消耗部品について	22
アフターサービスについて	25
お客様の個人情報のお取り扱いについて	25
保証・無料修理規定	26
保証書	27
お客様相談窓口	27

このたびは、コイズミ 送風機能付ファンヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。


なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に大切に保管してください。


●特に1~6ページの「安全上のご注意」と「知っておいていただきたいこと」を必ずお読みください。

# 安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

 **注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

## 絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

## 警告

●故障・異常時には、直ちに使用を中止する。  
そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

- ・スイッチを入れても、ときどき通電しないときがある。
- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ・通電中に異常な音や振動がする。
- ・電源プラグ・電源コード・本体などが異常に熱い。
- ・こげくさい臭いがする。

※このような症状のときはすぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ点検、修理を依頼してください。

●やけどの恐れあり。

- 次のような方がお使いのときは特に注意してください。
- ・乳幼児
  - ・自分で操作できない方
  - ・皮フ感覚の弱い方

●定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

●延長コードを使用しない。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

●電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。

感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

●電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。

ショート・火災の原因となります。

## ⚠ 警告

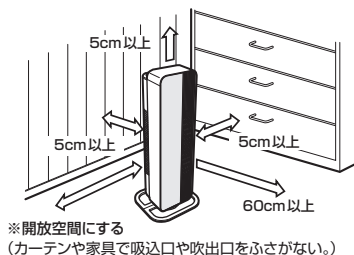
●スプレー缶などを本体の近くに置かない。  
爆発や火災の原因となります。

●すき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。  
感電や異常動作してけがをすることがあります。

●電源コードを束ねて使用しない。  
発熱による火災の原因となります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。  
感電・ショート・発火の原因となります。

●カーテン、ふとんなど燃えやすい物や、  
風に吸い込まれやすい物の近くで使用しない。  
火災や故障の恐れがあります。  
図に示す寸法以内に近づけないでください。  
(消防法基準適合)



●就寝中は温風運転をしない。  
寝具などが触れると火災の原因となります。

●長時間同じ部位に風を当てない。  
低温やけどや健康を害する恐れがあります。

●台座を取り付ける前に運転しない。  
不安定なため転倒し、火災・感電・けがの原因となります。

●電源コードを傷付ける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・重い物を載せる・はさみ込む・送風機能付ファンヒーターの下を通すなどしない。  
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

●電源コードを本体に巻き付けない。  
電源コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因となります。

●AC100V以外では使用しない。(日本国内専用)  
火災・感電の原因となります。  
AC200V・船舶の電源・直流電源などAC100V以外では使用しないでください。

●改造はしない。修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。  
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電やけがをすることがあります。



- 発熱器具の近くに置かない。  
樹脂部分が溶けて引火する原因となります。

## ⚠ 注意



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。  
感電やショートして発火することがあります。
- 本体のお手入れは必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う。  
感電ややけどをすることがあります。
- 移動や持ち運びの際は注意する。  
落下すると、けがの原因となります。
- リモコン用電池は乳幼児の手の届かない場所に保管する。  
万一飲み込んだ場合には直ちに医師とご相談ください。
- 長期間使用しないときはリモコン用電池を取り出しておく。  
電池の液漏れで回路がショートし、火災・けが・汚損の原因となります。



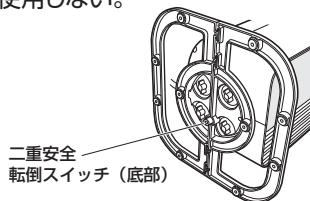
- 外出時、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。  
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



- 本体に衣類やふとんをかけて使用しない。  
過熱して火災の原因となります。
- 犬や猫などのペット用として使用しない。  
ペットが本体や電源コードを傷め、火災の原因となることがあります。
- 使用中や使用後、送風が止まるまで電源プラグを抜かない。  
けがややけど、故障の原因となります。
- 乾燥など他の用途に使用しない。  
過熱して発火することがあります。燃えやすい物の落下などにはご注意ください。
- 次のような場所で使用しない。
  - ・温室や浴室、屋外など高温・多湿・水のかかる場所
  - ・ガスレンジなど炎の近く、引火性ガスのある場所感電やショート・発火の原因となります。

## ⚠ 注意

- 二重安全転倒スイッチをテープなどで固定して使用しない。  
火災の原因となります。



- 毛足の長い敷物の上や座ぶとんの上など、不安定な場所で使用しない。  
火災の原因となります。

- 壁や家具の近くで使用しない。  
温風運転時は吹出口を壁や家具に向けないでください。熱で壁や家具が変形・変色したり火災の原因となることがあります。

- 強い衝撃や振動を与えない。  
故障の原因となります。



- 首振りの可動範囲を超えて無理に動かさない。  
故障の原因となります。

- ルーバーを手動で動かさない。  
故障や破損の原因となります。

- フィルターを取りはずしたまま使用しない。  
本体内部にごみやほこりなどを吸い込み、故障して発火や過熱する原因となります。

- 吹出口や吸込口を、障害物やテープなどでふさがない。  
故障や事故の原因となります。

- 業務用として使用しない。また、不特定多数の人が使用する場所に置かない。  
連続過負荷による故障の恐れがあります。

- リモコン用電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない。  
電池の発熱・破裂・破損・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

- 指定以外のリモコン用電池を使用しない。  
電池の発熱・破裂・破損・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。



- 本体や操作部に水やお茶などをこぼさない。  
万一こぼれたときは、漏電や感電、過熱の恐れがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。



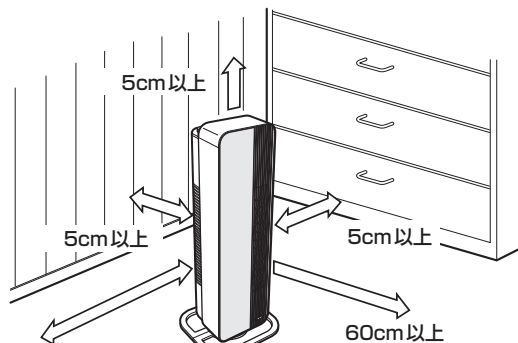
- 使用中や使用後しばらくは吹出口など高温部に触れない。
- 吹出口のすき間に手や指を入れない。  
やけどやけがの原因となります。

# 知っておいていただきたいこと

※初めてご使用になるときは、塗料などのおいが出ることがあります。しばらく運転すると自然になくなります。

## 設置について

- 壁や家具、カーテンなど燃えやすい物から離して設置してください。
- 上方から落下物の恐れがない場所に設置してください。
- 前方60cm以上、上方・後方・側方5cm以上あけ、左右どちらかは障害物のない開放空間にしてください。



※開放空間にする

(カーテンや家具で吸込口や吹出口をふさがない。)

- 吹出口をふさがないようにしてください。
- 水平で安定したじょうぶな床の上に設置してください。
- 高温・多湿・水のかかる場所・直射日光の当たる場所・ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 人がよく通る場所や、就寝中に手が届く場所に設置しないでください。
- 必ず台座を取り付けてから使用してください。

## 移動について

- 運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから移動させてください。
- 必ず背面の取っ手の部分に手を入れ、持ち上げて移動させてください。
- 本体を引きずったり、強い衝撃を与えないように注意してください。
- 電源コードを引っ掛けたり、ふみつけたりしないよう注意してください。
- 本体や台座が手や足に落下するとけがをしたり、床などに落とすと破損の原因となりますので注意してください。

## 運転切替について

- 「温風運転」⇔「送風運転」の切り替え時は、動作するまでに多少時間がかかります。

## 室温・湿度表示について

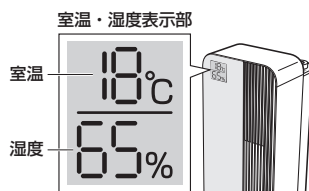
電源プラグをコンセントに差し込むと、室温と湿度を本体内部のセンサーが検知し、室温・湿度表示部に表示します。目安としてご使用ください。

- ・ 温湿度表示ボタンを押すと温湿度表示を消すことができます。
- ・ 室温の表示範囲は0℃～44℃、湿度の表示範囲は20%～90%です。  
(表示範囲外のときは、それ以上の場合は「HI」それ以下の場合は「LO」が表示されます。)

### ご注意

- 設置状態の違いや急激な室温・湿度変化などの影響で正しい室温・湿度を検知しないことがあります。

<例>室温 18℃・湿度 65%の場合



## 5時間自動オフ（電源切り忘れ防止機能）について

温風運転開始から約5時間経過すると、自動的に運転を停止します。

- ・ 引き続き使用する場合は、一度電源を切り、再度電源を入れてください。
- ・ そのまま使用しない場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ご注意

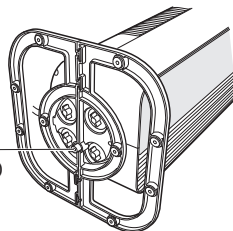
- 送風・オフタイマー運転時は5時間自動オフは作動しません。

## 二重安全転倒スイッチについて

通電中に本体が倒れたり、傾いたり、浮いたりした場合、また、本体を持ち上げた場合、自動的に電源が切れます。また、倒れた状態で安全転倒スイッチが押されても通電しない二重構造になっています。

- ・ 引き続き使用する場合は、安定した場所に置きなおし、一度電源を切ってから再度電源を入れてください。

二重安全  
転倒スイッチ（底部）



## 首振りについて

- 首振り中に電源を切ると、本体の向きはセンター位置付近に戻ります。
- 人感センサー機能（P. 16）を使用しているときは、首振り機能は使用できません。

## 温風運転時の温度過昇防止装置（サーモスタット）について

本体内の温度が上昇すぎると、温度過昇防止装置（サーモスタット）がはたらき、自動的にヒーターが停止します。（ヒーターが停止し温風が出なくなり送風運転になります。）

電源を切り、次の項目を点検してください。

- ・ フィルターがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？
- ・ 吹出口の前に物を置いていませんか？
- ・ 吸込口がふさがっていませんか？
- ・ 設置のしかたが守られていますか？（P. 5参照）

原因を取り除き、約30分後、再度電源を入れてください。

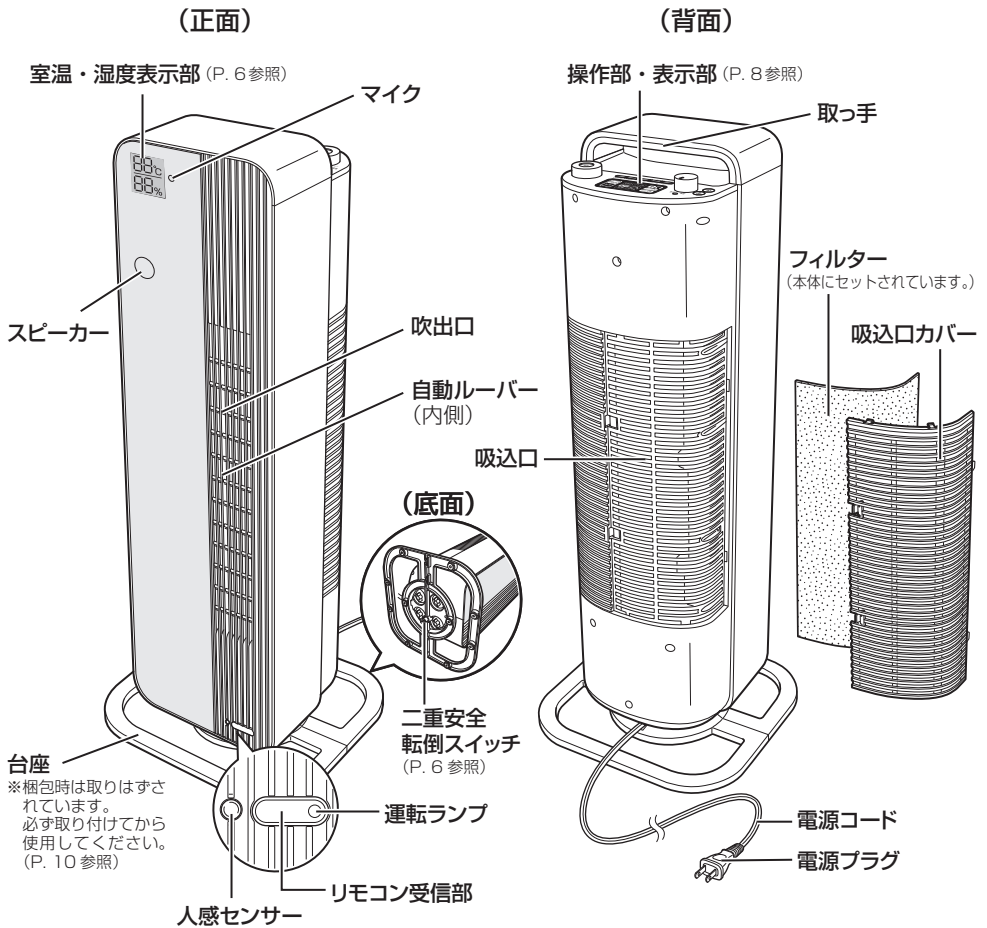
## メモリー機能について

操作部の電源つまみやリモコンの電源ボタンで電源を切った場合、人感センサー、熱中症アラート、音声認識、温湿度表示、自動ルーバー、チャイルドロック、送風運転の風量、首振りの設定を、電源を切る前の状態で記憶します。

- ・ 電源プラグをコンセントから抜いた後や停電したときは、記憶されている内容は消えます。

# 各部のなまえ

## 本体



## 付属品

### ●リモコン

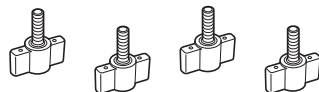


### ●ボタン電池 (CR2025) × 1 個



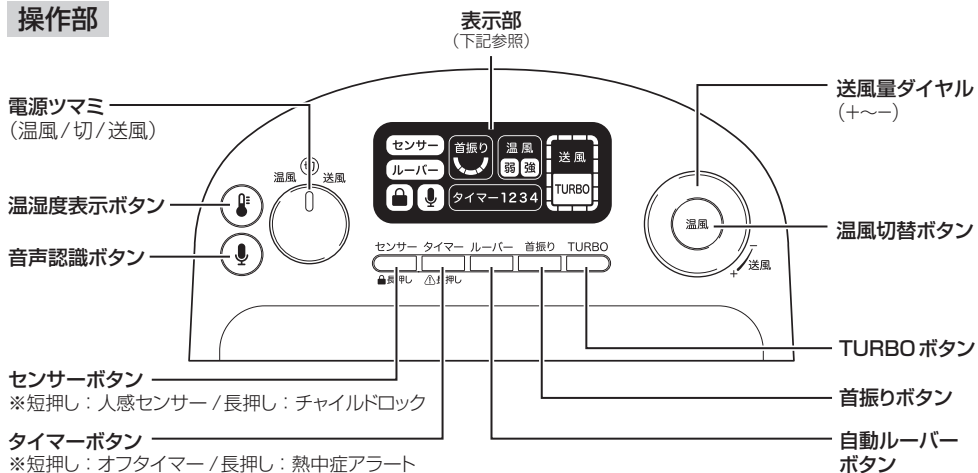
### ●台座取り付けネジ × 4 本

※梱包時は本体底面に取り付けられています。

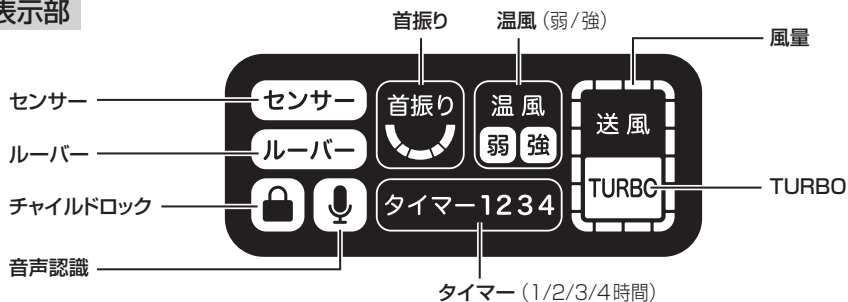




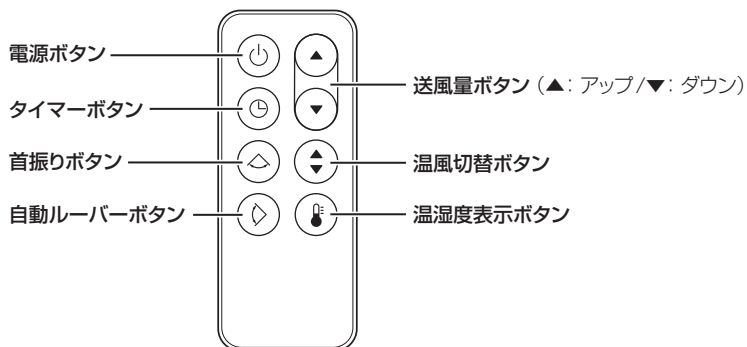
## 操作部



## 表示部



## リモコン



# リモコンについて

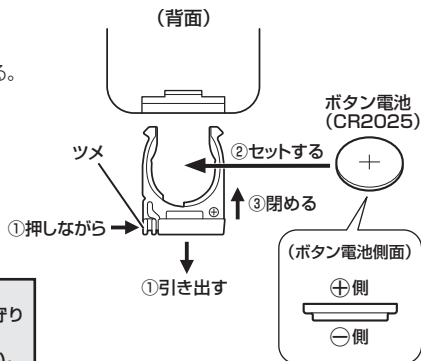
※ご使用前に、リモコン下部から出ている絶縁シートを引き抜いてください。

## 電池の入れかた

- ①リモコンの背面の電池カバーを引き出す。  
※ツメを押しながら引き出してください。
- ②ボタン電池 (CR2025) を⊕側を上にして電池カバーにセットする。
- ③電池カバーを閉める。

## リモコンの電池の交換目安

電池が消耗してくると、ボタンを押しても反応しない、反応が遅いなどの現象が生じます。このようなときは、新しい電池と交換してください。



### ご注意

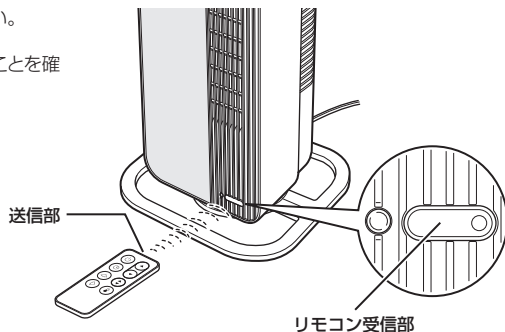
ボタン電池の発熱・破裂・破損・液漏れ防止のために次のことをご守りください。

- 長期間使用しないときは、ボタン電池を取り出しておいてください。
- プラスとマイナスは正しく入れてください。
- 火や水の中への投入や、分解、加熱などはしないでください。

## リモコンの使いかた

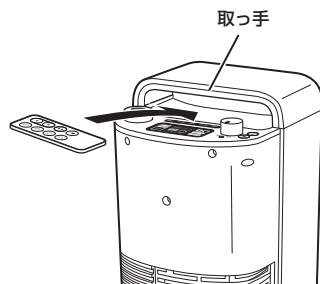
送信部を本体のリモコン受信部に向けて操作してください。  
(使用可能範囲：本体から約3m・角度約30°)

※リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物がないことを確認してください。



## リモコンの収納

背面の取っ手の下に収納してください。

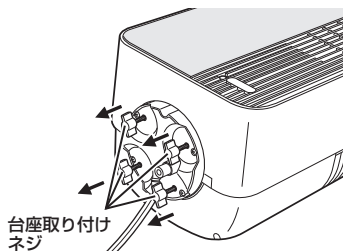


# ご使用前の準備 (台座を取り付ける)

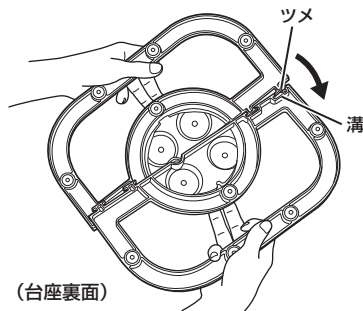
## ⚠ 警告

- 台座を取り付ける前に運転しない。  
本体が転倒し、ショート・感電・けがの原因となります。

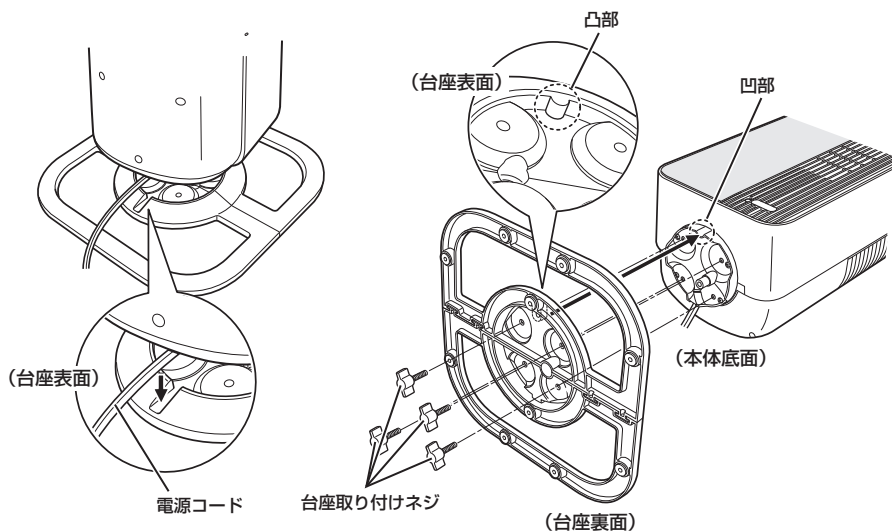
- 1 本体底面に取り付けてある台座取り付けネジ (4本) をはずします。



- 2 台座を裏面にし、組み立てます。  
ツメを溝に合わせてはめ込みます。



- 3 電源コードを台座の溝に通し、台座の凸部と本体の凹部に合わせて本体に台座をはめ込み、台座取り付けネジ (4本) で取り付けます。



### ご注意

- 電源コードは必ず台座の溝に通してください。  
本体が転倒したり、通電しないなど故障の原因となります。
- 台座取り付けネジはしっかりと締め付けてください。  
本体と台座がしっかりと固定されていないと、不安定なため本体が転倒し、ショート・感電・けがの原因となります。

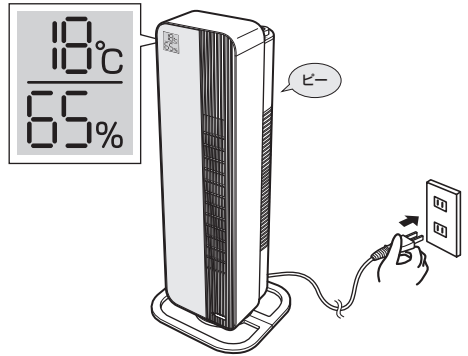
# 運転のしかた

## 運転前に

電源プラグをコンセントに差し込む。

- 「ピー」と音が鳴り、表示部・運転ランプが点灯し、現在の室温・湿度が点灯してスタンバイ状態になります。

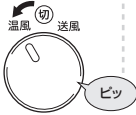
<例>室温 18℃・湿度 65%の場合



## 温風運転する

### 1 電源ツマミを [温風] にする。

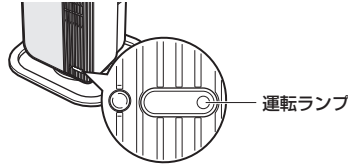
操作部



リモコン

※リモコンで  
温風運転は  
開始できません。

- 運転ランプがオレンジ色に点灯します。



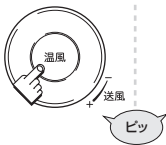
- 運転開始時は常に [強] の設定で運転します。

表示部



### 2 温風切替ボタンでお好みのヒーターの強さを選択する。

操作部

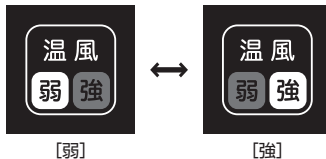


リモコン



- 温風切替ボタンを押すたびに、ヒーターの強さが切り替わります。ヒーターの強さは [弱] と [強] の 2 段階から選べます。  
※風量は変わりません。

表示部




[弱]

[強]


## 送風運転する

### 1 電源ツマミを [送風] にする。

**操作部**



**リモコン**




※電源ツマミが [送風] 位置になっているときのみ送風運転が開始できます。

- 運転ランプが白色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに差し込んで初めて運転したときは、風量 [9] で運転します。

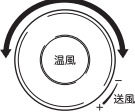
※電源ツマミを [送風] にしないと、リモコンの電源ボタンや音声認識で送風運転を開始できません。

**表示部**

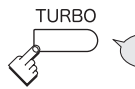


### 2 操作部の送風量ダイヤル、TURBO ボタン、または、リモコンの送風量ボタンでお好みの風量を選ぶ。


**操作部**



または

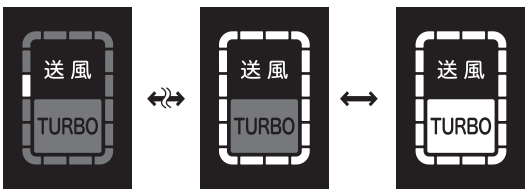


**リモコン**



- 操作部の送風量ダイヤルを回す、または、リモコンの送風量ボタンを押すたびに、風量が切り替わります。
- 操作部の TURBO ボタンを押す、または、リモコンの送風量 (▲: アップ) ボタンを表示部に「TURBO」が点灯するまで繰り返し押すと、最大の風量で運転します。風量は [1] から [16] + [TURBO] の 17段階から選べます。

**表示部**



風量レベル [1]      風量レベル [16]      風量レベル [TURBO]

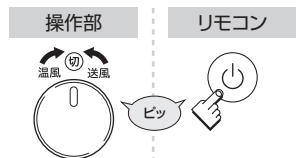
※ [TURBO] の設定を解除するときは、以下のいずれかの操作をする。

- 操作部の TURBO ボタンを押す。
  - 操作部の送風量ダイヤルを [-] の方向へ回す。
  - リモコンの送風量 (▼: ダウン) ボタンを押す。
  - 音声認識機能で「ターボモード」「弱くして」「すごく弱くして」と指示する。
- 解除すると、[TURBO] 設定前の風量に戻ります。

# 運転のしかた

## 運転を停止する

操作部の電源ツマミを [切] にする、または、リモコンの電源ボタンを押す。

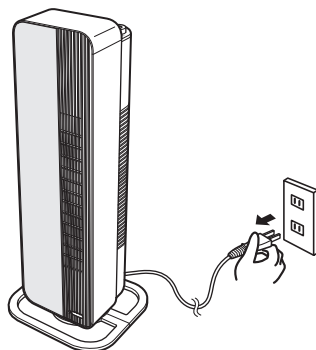


- 運転ランプと表示部が消灯します。
- 温風運転終了時は、ヒーター保護のため送風運転を約 15 秒間行います。
- ※ 温風運転時にリモコンの電源ボタンを押して運転を停止した場合、操作部の電源ツマミを一度 [切] に戻してから、再度電源ツマミを [温風] にして運転を再開してください。送風運転の場合は、再度リモコンの電源ボタンを押して運転を再開できます。
- ※ 温風運転再開時は、ヒーター [強]、運転停止前の首振りの設定で運転を再開します。送風運転再開時は、運転停止前の風量、首振りの設定で運転を再開します。

## 使用後は

運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜く。

- 室温・湿度の表示が消灯します。



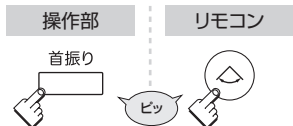
## ご注意

- 使用後しばらくは、吹出口など高温部に触れたり、吹出口のすき間に手や指を入れないでください。やけどやけがの原因となります。

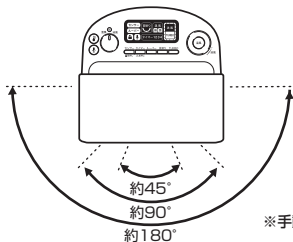
## ■いろいろな機能の使いかた

### 首振り機能

運転中に 首振りボタンを押す。

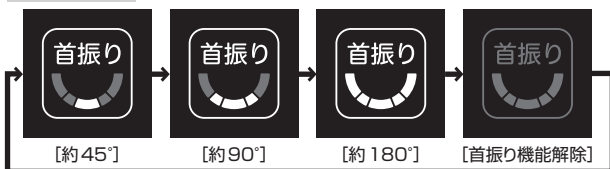


#### ■自動首振りの可動範囲



- 首振りボタンを押すたびに、首振りの可動範囲が切り替わります。首振りの可動範囲は【約45°】【約90°】【約180°】の3段階から選べます。

#### 表示部



- 首振り運転中に運転を停止すると、自動的に正面に戻ります。

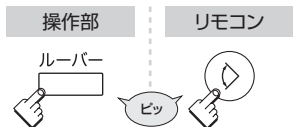
※手動首振りの可動範囲は左右約30°です。

#### ご注意

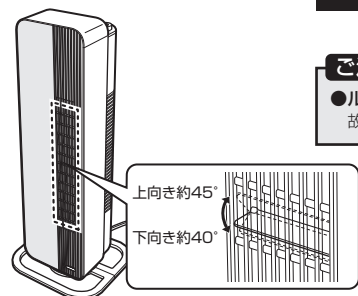
- 人感センサー機能 (P. 16) を使用しているときは、首振り機能は使用できません。
- 首振り機能を使用しているときにセンサーボタンを押すと、首振り機能は解除され、人感センサー機能が設定されます。
- 可動範囲を超えて無理に動かさないでください。

### 自動ルーバー機能

運転中に 自動ルーバーボタンを押す。

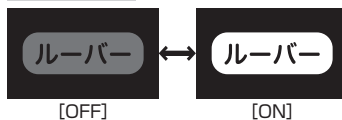


#### ■ルーバーの可動範囲



- 自動ルーバーボタンを押すたびに、自動ルーバー機能のON/OFFが切り替わります。

#### 表示部



#### ご注意

- ルーバーを手動で動かさないでください。故障や破損の原因となります。

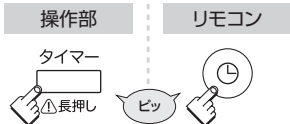
# 運転のしかた

## いろいろな機能の使いかた (つづき)

### オフタイマー機能

●設定した時間経過後に、自動的に運転を停止する機能です。

運転中に **タイマーボタン**を押す。



- 室温・湿度の表示が点滅します。
- タイマーボタンを押すたびに、設定時間が切り替わります。オフタイマーは [1 時間後] から 1 時間刻みで [4 時間後] まで設定できます。(1 時間後 / 2 時間後 / 3 時間後 / 4 時間後)
- 設定時間が経過すると、自動的に運転を停止し、運転ランプが消灯します。  
※温風運転を再開するには、操作部の「電源」ツマミを一度 [切] に戻してから、再度電源ツマミを [温風] にしてください。  
送風運転の場合は、再度リモコンの電源ボタンを押して運転を再開できます。

#### 表示部

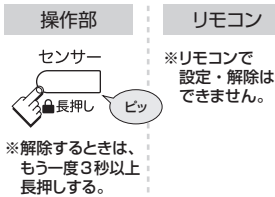


※設定時間経過前に運転を停止すると、オフタイマーの設定は解除されます。

### チャイルドロック機能

●誤ったボタン操作を防ぐために、操作部のボタンをロックする機能です。

運転中または運転停止中に **センサーボタン**を3秒以上長押しする。



- センサーボタンを3秒以上長押しするたびに、チャイルドロック機能のON/OFFが切り替わります。

#### 表示部



#### で注意

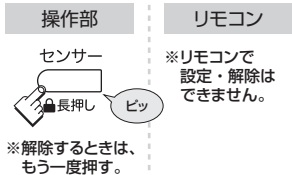
- チャイルドロック設定時は、運転停止とチャイルドロック解除以外の操作はできません。(リモコンや音声認識での操作もできません。)
- チャイルドロックを解除せずに電源を切った場合は、運転を再開した際もチャイルドロックが設定されています。  
解除する場合は、センサーボタンを3秒以上長押ししてください。
- 運転停止時でもチャイルドロックの設定が可能です。



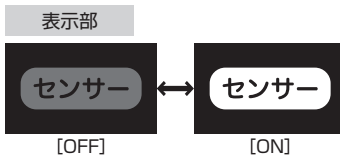
## 人感センサー機能

●人の動きを感知して、自動的に運転を停止したり開始する機能です。

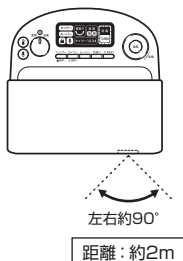
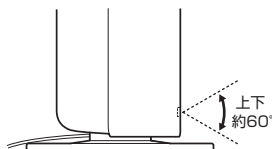
### 運転中に センサーボタンを押す。



- センサーボタンを押すたびに、人感センサー機能のON/OFFが切り替わります。



### ■人感センサーの感知範囲



### — 人感センサーの感知時の動作 —

#### 感知範囲から人がいなくなると

約2分後に運転が停止して、運転ランプが点滅します。

※温風運転時は、ヒーター保護のため、送風運転を約15秒間行ってから停止します。

#### 人の動きを感知したとき

運転ランプが点灯し、自動的に運転を開始します。

### ◆注意

- 人感センサー機能を使用しているときは、首振り機能 (P. 14) は使用できません。
- 人感センサーの感知は多少時間差がでることがあります。
- 人が感知範囲にいるときでも、全く動かなかったり動きが小さい場合や、速い動きで感知範囲を通過した場合に人感センサー機能が作動しないことがあります。
- 人以外でもペットや風になびく物、動作する物などを感知する場合がありますので、センサー感知範囲付近に物を置かないでください。また、まれに太陽光や白熱電球などの照明光でも感知する場合があります。
- 室温が人の体温に近い温度まで上昇すると、人感センサー機能が作動しないことがあります。故障ではありません。

# 運転のしかた


## ■いろいろな機能の使いかた (つづき)

### 音声認識機能

●本体を音声で操作する機能です。

※運転開始時は常に表示部の  マークが点灯し、音声認識機能が有効になっています。

1 表示部の  が消灯しているときは

音声認識ボタンを押して表示部の  を点灯させる。



2 「ホットアンドクール」または「ねえファンファン」と呼びかけて  
本体が返事をしたら\*続けて以下の音声で指示する。

※本体が返事をしたらスタンバイ状態となり、音声での操作が可能になります。

連続で操作する場合は5秒以内に指示してください。

### ■指示音声一覧

動作内容	音声認識ワード
音声認識スタート	ホットアンドクール ねえファンファン
電源オン	電源入れて
電源オフ	電源消して
温風 1200W⇒600W⇒1200W	電源切って
送風を1段階強く	温風変えて
送風を3段階強く	強くして
	すごく強くして

動作内容	音声認識ワード
送風を1段階弱く	弱くして
送風を3段階弱く	すごく弱くして
ターボモード オン⇔オフ	ターボモード
首振り 45°⇒90°⇒180°⇒45°	首振って
首振りオフ	首止めて
ルーバーオン	ルーバー振って
ルーバーオフ	ルーバー止めて
音量 2⇒3⇒オフ⇒1	音量変えて

- 指示音声認識されることに、本体が返事をします。
- 「電源入れて」は電源ツマミが [送風] の位置にあり、送風運転開始時のみ使用できます。


### ◆注意

- 音声小さかったり、遠くから指示した場合、音声認識されないことがあります。
- 指示音声一覧に記載の音声以外で指示した場合、音声認識機能ははたらきません。
- 音声認識中は温湿度表示が点滅し、風量が弱くなります。

## 熱中症アラート機能

●熱中症の警戒レベルを音声でお知らせする機能です。

※電源プラグをコンセントに差し込むと、熱中症アラート機能が有効になっています。

操作部	リモコン
 <p>タイマー △長押し</p>	<p>※リモコンで 設定・解除は できません。</p>

- タイマーボタンを3秒以上長押しするたびに、熱中症アラート機能のON/OFFが切り替わります。
- 暑さ指数が28以上になると音声流れます。(下記参照)

暑さ指数*(WBGT)	音声アラート
28以上	室温は現在警戒レベルです。(約30分に1回)

※暑さ指数(WBGT)とは人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れて、熱中症を予防することを目的として提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(°C)で示されますが、値を気温と区別しやすいように、単位のない指数として表記しています。

### ご注意

- 音声認識機能(P.17)がOFFの場合は、熱中症アラート機能もOFFになります。
- 熱中症アラート機能は、熱中症予防の目安としてご使用ください。

熱中症の予防は、「環境省熱中症予防情報サイト(<https://www.wbgt.env.go.jp>)」などをチェックし、体調などに十分注意して適切な行動をお取りください。

# お手入れのしかた

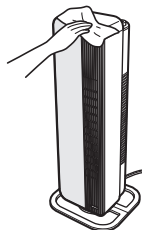
※お手入れは運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、必ず本体が冷めてから行ってください。

## 本体

・外側は薄めた台所用洗剤（中性）にやわらかい布などを浸してしぼり、汚れを拭き取ります。その後、洗剤が残らないように、乾いた布でもう一度拭き取ってください。

### ご注意

- 操作部、本体内部の電気部品には絶対に水をかけないでください。感電や故障の原因となります。
- シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。本体を傷めます。また変色、変形の原因となります。

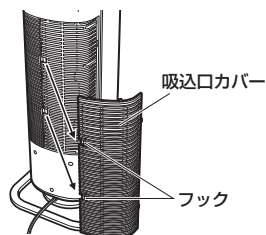


## フィルター

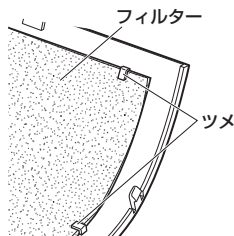
週1回（目安）

・フィルターがごみやほこりなどで目詰まりすると、安全装置がはたらき、運転が停止することがありますので、定期的にお手入れしてください。

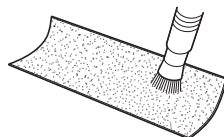
1 吸込口カバーのフックを引かずし、吸込口カバーを引っ張って本体から取りはずします。



2 吸込口カバー内側のツメからフィルターをはずします。



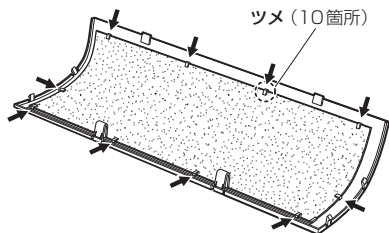
3 フィルターに付いたごみやほこりなどを掃除機で吸い取ります。



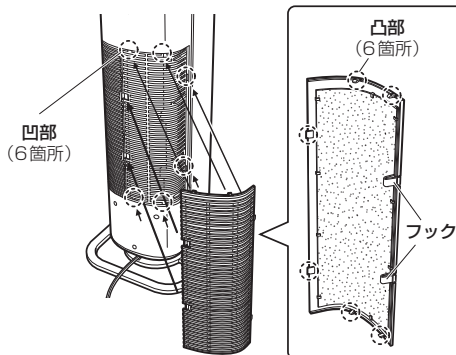
汚れがひどいときは、水洗いした後、陰干して乾燥させてください。

4 フィルターを吸込口カバーに元通りにセットします。

※内側のツメにしっかりとめ込んでください。



5 吸込口カバーの凸部を本体の凹部にはめ込み、フックを押し込んで本体に取り付けます。



### ご注意

- フィルターを取りはずしたまま使用しないでください。本体内にごみやほこりなどを吸い込み、故障の原因となります。

# 保管のしかた

- ・お手入れした後、陰干して乾燥させてください。
- ・本体をポリ袋などで包み、元の梱包ケースなどに入れて、直射日光の当たらない湿気の少ない場所に保管してください。

# 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。それでも異常のある場合は、商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

このようなとき	点 検	処置のしかた
運転しない 風が出ない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	●本体が傾いたり浮いたりしていませんか？	安定した場所に置きなおし、電源を切ってから再度電源を入れてください。
	●電源ツマミが [切] になっていませんか？	電源ツマミを [温風] または [送風] にしてください。
	●ご家庭のブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを点検してください。
リモコンの 電源ボタンを押しても 温風が出ない	●リモコンで送風運転の再開はできますが、温風運転の再開はできません。	電源ツマミを [温風] にしてください。
操作ボタンを押しても 受け付けない	●チャイルドロックを設定していませんか？	チャイルドロックを解除してください。 (P. 15 参照)
運転が途中で停止する 風の吹き出しが弱い	●フィルターがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？ ※温度過昇防止装置がはたらいて停止することがあります。	電源を切り、フィルターのお手入れをしてください。(P. 19 参照) 約30分後、再度電源を入れてください。
	●吹出口の前に物を置いていませんか？ ●吸込口がふさがっていませんか？ ※温度過昇防止装置がはたらいて停止することがあります。	電源を切り、「設置について」(P. 5 参照)をお守りいただき、正しく設置してください。 約30分後、再度電源を入れてください。
電源プラグが異常に 熱くなる	●たこ足配線していませんか？	定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。延長コードを使用しないでください。
	●コンセントの刃受け部がゆるくなっていませんか？	コンセントをお調べください。
首振りボタンを 押しても作動しない	●人感センサー機能を設定していませんか？	人感センサー機能を解除した上で首振りボタンを押してください。 ※人感センサー機能設定時は、首振りの設定はできません。
自動で運転停止した	●オフタイマー機能を設定しませんでしたか？	オフタイマー機能を設定すると、設定した時間で自動的に運転を停止します。
	●運転ランプが点滅していませんか？	人感センサー機能が作動しています。 (P. 16 参照)
音声で操作できない	●表示部の  が消灯していませんか？	音声認識ボタンを押してください。
	●音声認識機能がスタンバイ状態になっていますか？	始めに「ホットアンドクール」または「ねえファンファン」と呼びかけてください。本体が返事をしたらスタンバイ状態となり、音声で操作できます。

# 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

## 扇風機

### (本体への表示内容)

- 経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に4桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】5年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

### (設計上の標準使用期間とは)

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上の支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものではありません。
- 無償保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

### ■標準的な使用条件 (JIS C 9921-1 による)

大項目	中項目	小項目	備考	
環境条件	電圧	単相 100V	製品の定格電圧による	
	周波数	50Hz/60Hz		
	温度	30℃		
	湿度	65%		
	設置条件	標準設置	製品の取扱説明書による	
負荷条件		定格負荷 (風速)	製品の取扱説明書による	
想定時間等	扇風機 (含む壁掛け扇、天井旋回扇)	1日あたりの使用時間	8 (h/日)	
		1日使用回数	5 (回/日)	
		1年間の使用日数	110 (日/年)	
		スイッチ操作回数	550 (回/年)	
		首振運転の割合	100 (%)	

※環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

- 「経年劣化」とは  
長期間にわたる使用や放置にとまない生じる劣化をいいます。

## 愛情点検

## ★長年ご使用の送風機能付ファンヒーターの点検を!



このような  
症状は  
ありませんか

- 電源を入れても、ときどき運転しないときがある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 電源プラグ・電源コード・本体が異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用  
中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

# Q&A (よくあるご質問)

Q (質問)	A (回答)
6畳の部屋は暖まりますか？	発熱量は1200W ですので部屋全体の暖房能力はありません。 局部採暖器具として好適です。
電気代はどれくらいかかりますか？	1時間使用で約37.2円です。(1200W で使用時) <sup>※</sup>
引っ越しして周波数の異なる地域でも使えますか？	50Hz、60Hz共用となっています。 どちらの地域でもそのままご使用できます。

※電気代は電力料金目安単価31円/kWh(税込)として計算しています。  
ただし、電力会社およびご家庭の電気使用量や室温、器具の使用条件により多少異なります。

## 仕様

電 源	AC100V 50/60Hz 共用	
外 形 寸 法	約310(幅)×300(奥行)×800(高さ) mm	
質 量	約8.5kg	
電源コードの長さ	約1.8m	
運 転 モ ー ド	温風運転	送風運転
消費電力(50/60Hz)	1200W	40W
安 全 装 置	二重安全転倒スイッチ サーモスタット 温度ヒューズ(73℃) 電流ヒューズ(3.15A)	
付 属 品	リモコン、ボタン電池(CR2025)×1個、台座取り付けネジ×4本、	

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

## 消耗部品について

消耗部品を依頼される場合には、小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名 称	型 番
フィルター	KHF-001

# アフターサービスについて

## 1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## 2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 3. 補修用性能部品の保有期間

- 送風機能付ファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。



# 保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障**した場合、「**無料修理**」致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
  - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
  - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

## 修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

# 送風機能付ファンヒーター

## 保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	KHF-12233	
お買い上げ年月日	年	月 日
無料修理保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）
	本体	1年
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 <b>見本</b>
販売店	店名・住所・電話	

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。  
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

### お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

#### ご意見・ご質問について

##### お客様相談窓口



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

#### 修理に関するお問い合わせ

##### 東日本修理センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048(718)3340 FAX.048(718)3350

##### 西日本修理センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3145 FAX.06(6613)3196

#### 部品に関するお問い合わせ

##### 部品センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3211 FAX.06(6613)3299

### 小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号  
TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

受付時間：平日9:00~17:00  
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2023年8月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)